

# 日本実験動物医学会 2015-2016 年度総会



2015年9月9日(水) 11:00~12:00  
北里大学  
(第158回日本獣医学会学術集会)

## 総会次第

開 会

会長あいさつ

授与式

2015-2016年度(第12回)前島賞授与式

2014年度 実験動物医学専門医認定式

議長選出

議 事

[1] 2014-2015年度事業報告 (8/1~7/31)

[2] 2014-2015年度決算報告

[3] 2015-2016年度事業計画 (8/1~7/31)

[4] 2015-2016年度予算案

[5] 来年の学会とエクスカージョンについて

[6] その他

報告事項

閉 会

## 授与式

◎2015-2016 年度（第 12 回）前島賞授与式

受賞者：佐々木隼人 会員

研究課題：「マウス第 2 染色体上の 2 つの腎症抵抗性領域はそれぞれ尿細管間質傷害抑制とポドサイト傷害抑制に寄与している」

◎2014 年度 実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医（敬称略）

認定番号121	浅岡由次	認定番号126	嶋田悠子
認定番号122	加藤啓子	認定番号127	富岡幸子
認定番号123	蟹谷昌尚	認定番号128	浜田孝和
認定番号124	木下一哉	認定番号129	平松滯
認定番号125	佐々木隼人	認定番号130	山下敦子

## 【 議 事 】

### 【 1 】 2014-2015 年度事業報告 (8/1～7/31)

#### 1. 2014-2015 年度総会の開催

日時：2014 年 9 月 11 日（木）16：00～17：00

場所：北海道大学 第 157 日本獣医学会学術集会

議事：会則の改定 / 新理事・監事の任命 / 2014-2015 年度事業報告 (8/1-7/31) / 2014-2015 年度決算報告 / 2015-2016 年度事業計画案 (8/1-7/31) / 2015-2016 年度予算案 / 来年の学会とエクスカージョンについて / 報告事項

#### 2. 理事会の開催

##### (1) 第 1 回理事会

日時：2014 年 9 月 10 日（木）10：30～12：00

場所：北海道大学 第 157 日本獣医学会学術集会

出席者：安居院、池田、笠井、久和、黒澤、佐々木、下田、竹田、三好（以上理事）、  
中井、八神（以上監事）

欠席者：有川（理事）

##### (2) 第 2 回理事会

日時：2015 年 5 月 27 日（水）10：00～12：00

場所：京都テルサ（第 2 会議室） 第 62 日本実験動物学会総会

出席者：安居院、池、角田、佐神、下田、古市、三好、森松（以上理事）、黒澤、橋本（以上監事）

欠席者：佐々木（理事）

#### 3. 学術集会委員会

委員長：池 郁生(理研)

委員：佐加良英治(副委員長、兵庫医科大)、北村 浩(酪農学園大)、小山公成(アステラスリサーチテクノロジー)、鈴木穂高(国立医薬品食品衛生研)、高橋英機(理研)、滝本一広(感染研)、中村紳一朗(滋賀医科大)

(1) 下記の通り、前期委員会委員にて委員会を 1 回開催した。

第 157 回日本獣医学会学術集会(北海道大学)開催期間中、平成 26 年 9 月 11 日(月)12:00～13:00、会議室 2

議題：今後の実験動物医学シンポジウムについて

(2) 日本実験動物医学会の新理事体制のもと、委員長に池、副委員長に佐加良とし、北村、小山、鈴木、高橋、滝本、中村の各先生に学術集会委員を委嘱した。

(3) 前回委員会から今回委員会までの間に ML で第 62 回日本実験動物学会総会ならびに第 158 回日本獣医学会学術集会における実験動物医学シンポジウム内容等について検討し、準備を進めた。

(4) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

#### 第 157 回日本獣医学会学術集会

日本実験動物医学シンポジウム「実験動物を用いたエネルギー代謝研究 ―最近のトピックから―」

日時：平成 26 年 9 月 10 日（水）14:00～16:00

場所：北海道大学獣医学部

#### 第 62 回日本実験動物学会総会

日本実験動物医学学会シンポジウム 「クローズドコロニーは必要か？」

日時：平成 27 年 5 月 27 日（水）13:00～15:00

場所：京都テルサ

### 4. 情報・編集委員会

委員長：三好一郎（東北大）

委員：山添裕之（副委員長、住友化学）、綾部信哉（理研）、伊藤麻里子（名大）、大沼健太（佐藤製薬）、森松正美（北大）、和頴 岳（ヤクルト）

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 43（2014. 8 矢野担当）および No. 44（2015. 4 伊藤担当）を編集し、本学会ホームページ（HP）に掲載した。

(2) 本学会 HP の内容を随時更新した。また、魅力的な HP を目指して改訂を検討中である。

(3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)および会員 HP (http://jalam.jp/htdocs/)を管理運営した。

(4) 第 62 回日本実験動物学会総会（京都テルサ）開催期間中、平成 27 年 5 月 27 日 15:30～17:30 に委員会（JALAM 情報・編集委員会・JCLAM 総務部合同会議）を開催した。

出席者：

JALAM 情報・編集委員会：山添、綾部、伊藤、大沼、森松、和頴

JCLAM 総務部：矢野（東京女子医大）、加藤（京都産業大）、桐原（島根大）、花井（大日本住友製薬）、和田（アステラスリサーチテクノロジー）、大沼、森松

報告事項：JALAM と JCLAM は、HP および会員 HP、メーリングリストに関して共通のプラットフォームを利用していることから、その運用について両者で情報を共有する。さらに、会員 HP の機能を有効活用し、学会活動の活性化を目指す。

- ・当面メーリングリストは継続するが、JALAM・JCLAM 会員 HP を共同運用し積極的に活用する。
- ・会員 HP で会員情報を管理することにより、シンポジウム等への参加記録を閲覧可能にする。
- ・JCLAM の英文 HP を作成し公開する。

### 5. 研修委員会

委員長：佐神文郎（ボゾリサーチセンター）

委員：木村 透（副委員長、山口大）、安居院高志（北大）、林元展人（実中研）、高木久宜（日本エスエルシー）、首藤康文（残農研）、和田 聡（アステラスリサーチテクノロジー）、今野兼次郎（京大）、阪川隆司（ボゾリサーチセンター）、武井信貴子（イナリサーチ）、花井幸次（大日本住友製薬）

第 157 回日本獣医学会に合わせ、平成 26 年 9 月 8、9 日にウェットハンド研修会「II. イヌ・ブタの獣医学的管理」を北海道大学で実施した。参加者は 45 名。

第 62 回日本実験動物学会総会に合わせ、5 月 25、26 日にウェットハンド研修会「III. サル類の獣医学的管理」をアステラス製薬（株）加島事業場（大阪市淀川区加島）で実施した。参加者は 39 名。また、5 月 26 日ウェットハンド研修会終了後、第 1 回委員会を開催した。

## 6. 実験動物学教育委員会

委員長：古市達哉(岩手大)

委員：横須賀 誠(副委員長、日獣大)、安居院高志(北大)、猪股智夫(麻布大)、大杉剛生(酪農学園大)、岡田利也(大阪府大)、角田 茂(東大)、木村 透(山口大)、久和茂(東大)、佐々木宣哉(北里大)、佐藤雪太(日大)、竹内崇師(鳥取大)、田中あかね(東京農工大)、二上英樹(岐阜大)、橋本 統(北里大)、森松正美(北大)、黒澤努(鹿児島大)

- (1) 実験動物学教育委員会メーリングリストを利用して、講義・実習に関する意見交換を行った。
- (2) 第157回日本獣医学会学術集会(北海道大学)において委員会を開催した(平成26年9月12日 12:00~13:00)。獣医学モデル・コア・カリキュラム等について意見交換を行った。

## 7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田 耕治(慶應大)

委員：大沢一貴(副委員長、長崎大)、笠井憲雪(東北大)、佐々木宣哉(北里大、平成26年度まで)、二上英樹(岐阜大、平成27年度より)、武井信貴子(株イナリサーチ)、横山功幸(武田薬品工業株)

157回日本獣医学会学術集会開催時、平成26年9月12日(金)9:00~10:00に委員会を開催した。「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の解説、及び「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」の解説について話し合った。

解説書が作成される場合、JALAMとして意見を述べることとし、獣医師の役割や獣医学的管理の重要性を明確化するよう要望することとする。

飼養保管基準では、第3-1-(1)-イ(健康管理と適切な治療)、第3-4(共通感染症)、第4-1-(1)(麻酔薬、鎮痛薬の投与)などの項目で獣医師の役割が重要である。

その他、外部検証の方法や、ケージの大きさ、収容面積等の数値を明記すること、などについて意見を出し合い、情報を共有した。

## 8. 前島賞選考委員会

委員長：佐々木宣哉(北里大)

委員：伊藤麻里子(副委員長、名大)、大杉剛生(酪農学園大)、田崎隆史(金沢医大)、土佐紀子(北大)、橋本憲佳(金沢大)、林元展人(実中研)、横須賀 誠(日獣大)、王 振吉(生理研)

平成26-27年度前島賞の選考を平成26年9月11日に行った。

その結果、下記の北沢実乃莉会員を候補者としてふさわしいと結論し、安居院会長に報告した。なお、その後の総会で、同会員が表彰された。

候補者：北沢実乃莉会員(東京農工大獣医衛生学研究室)

研究課題：宿主プロテアーゼ TMPRSS2 はセンダウイルスの病原性決定因子のひとつである

## 9. アドホック委員会(JALAM/JCLAM 選出委員)

委員長：鈴木 真(沖縄科学技術大)

委員：安居院高志(北大)、黒澤努(元大阪大)、久和茂(東大)、中井伸子(日本新薬)、森松正美(北大)、山添裕之(住友化学)、横山功幸(武田薬品工業)

2009年に公表した「げっ歯類の胎児・新生児の鎮痛・麻酔および安楽死に関する声明」を最新のデータ等と照合検討し、改訂版(第2版)を作成した。

### [2] 2014-2015年度決算報告(8/1~7/31)(別紙参照)

一般会計決算報告について

会費納入状況について

### [ 3 ] 2015-2016 年度事業計画 (8/1～7/31)

#### 1. 総会

2015-2016 年度総会を第 158 回日本獣医学会会期中に行う。

#### 2. 学術集会委員会

委員会を 1 回 (平成 27 年 9 月 7 日) 開催する。

下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。

(1) 第 158 回日本獣医学会学術集会において JALAM シンポジウム「免疫不全動物などストレスに弱い状態の実験動物の維持管理」を開催する。

(2) 第 63 回日本実験動物学会 (川崎市) における JALAM シンポジウムを企画する。

(3) 第 159 回日本獣医学会 (藤沢市) における JALAM シンポジウムを企画する。

#### 3. 情報・編集委員会

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No.45 (2015.8 綾部担当) および No.46 (2016.4) を編集し、本学会ホームページ (HP) に掲載する予定。

(2) 本学会 HP を改訂し、その内容を随時更新する。

(3) JALAM-ML (jalam@umin.ac.jp) および会員 HP (<http://jalam.jp/htdocs/>) を管理運営する。

(4) 第 158 回日本獣医学会学術集会 (北里大学) 開催期間中、平成 27 年 9 月 7 日 (月) 14:00～15:00 に委員会開催予定。

#### 4. 研修委員会

2016 年 5 月の実験動物学会にあわせたウェットハンド研修会より JCLAM との共催とする。本年 9 月 4、5 日に 2 回目の「III. サル類の獣医学的管理」をハムリー (株) 筑波研究所 (本社) (茨城県古河市尾崎) で実施する。158 回日本獣医学会学術集会開催時に委員会を開催し、ウェットハンド研修会のコアカリキュラム検討、同研修会の JCLAM 移行への対応他運営について審議。また、2016 年 5 月の第 63 回実験動物学会に合わせウェットハンド研修会「I. げっ歯類およびウサギの獣医学的管理」を JCLAM との共催で実施予定である。2016 年 5 月のウェットハンド研修会の JCLAM 移行に伴い、開催経費の見直しを踏まえ、受講料を現行の ¥15,000 から ¥20,000 に値上げする予定である。

#### 5. 実験動物学教育委員会

(1) 委員会を 1 回 (平成 27 年 9 月 7 日) 開催する。

(2) 実験動物学教育委員会のメーリングリストを通して、意見・情報の交換を行う。

#### 6. 実験動物法規等検討委員会

(1) 第 158 回日本獣医学会学術集会 (北里大学) 開催期間中、平成 27 年 9 月 7 日 (月) 14:00～15:00 に委員会開催予定。

(2) 動物愛護管理法の改正に関する情報を収集する。

(3) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

#### 7. 前島賞選考委員会

第 158 回日本獣医学会学術集会 (北里大学) 開催期間中、平成 27 年 9 月 8 日 (火) 16:00～17:00 に委員会開催予定。第 159 回の総会からは申込制とする。

### [ 4 ] 2015-2016 年度 (8/1～7/31) 予算 (別紙参照)

1. 一般予算について

### [ 5 ] 来年の学会とエクスカージョンについて

第 159 回日本獣医学会学術集会が日本大学において 9 月に開催される。これに合わせてエクスカージョンを実施する。

### [ 6 ] その他

## 【 報告事項 】

### 1. 2014-2015 年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 342 名 (2015 年 7 月 31 日現在)

### 2. 2014-2015 年度入退者数

入会 38 名 (獣医学会未入会につき正式入会保留中 1 名)

退会 29 名 (会費滞納による退会 22 名)

退会取消による復帰 2 名

## 日本実験動物医学会 2014-2015～2016-2017 年度役員会および委員会

### 理事・監事

会長 (渉外担当理事兼任)	安居院 高志 (北海道大学)
副会長	三好 一郎 (東北大学)
理事 (会計・事務局担当)	角田 茂 (東京大学)
理事	池 郁生 (理化学研究所)
理事	古市 達哉 (岩手大学)
理事	佐神 文郎 (ボゾリサーチセンター)
理事	佐々木宣哉 (北里大学)
理事 (庶務担当)	森松 正美 (北海道大学)
理事	下田 耕治 (慶応義塾大学)
監事	黒澤 努 (元大阪大学)
監事	橋本 道子 (アステラスリサーチテクノロジー)

### 各種委員会委員長

学術集会委員会	池 郁生 (理化学研究所)
研修委員会	佐神 文郎 (ボゾリサーチセンター)
実験動物学教育委員会	古市 達哉 (岩手大学)
情報・編集委員会	三好 一郎 (名古屋市立大学)
前島賞選考委員会	佐々木宣哉 (北里大学)
実験動物法規等検討委員会	下田 耕治 (慶応義塾大学)